

マツダ病院は、 後発医薬品・バイオ後続品を 積極的に採用しています

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同一の有効成分を同一量含み、効き目が同等な医薬品です。

国の厳しい審査をクリアしたものだけが承認されており、安全性や品質も新薬と同等です。

バイオ後続品（バイオシミラー）とは

国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（先行バイオ医薬品）と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者により開発される医薬品です。

後発医薬品・バイオ後続品の使用促進メリット

1. 患者さんの負担軽減

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので低価格です。
医療の質を落とすことなく、患者さんの経済的負担も軽くなります。

2. 医療保険財政の改善

少子高齢化が進む中、日本の医療費は増加し続けています。

後発医薬品の使用は、個人の医療費の軽減だけでなく、日本全体の医療費の抑制につながります。現在の医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献できます。